

## 学校再編整備計画策定に向けた説明会（第3回住民説明会）【会議録】

### 1 日時

令和5年11月21日（火）19時～21時10分

### 2 場所

築港小学校 講堂

### 3 参加者

地域住民の方々 65名

### 4 説明者等

#### 【港区役所】

山口 港区長

若林 港区副区長

細江 港区役所エリア開発推進担当課長

村上 港区役所協働まちづくり推進課課長代理 外8名

#### 【教育委員会事務局】

近藤 学校環境整備担当部長

笹田 総務部学校適正配置担当課長

岡永 総務部学事課学校適正配置担当課長代理

山崎 指導部指導主事

早瀬 指導部指導主事

外1名

#### 【学校関係者】

校長 2名

### 5 説明会の概要

(1) 山口 港区長よりご挨拶

(2) 村上 港区役所協働まちづくり課長代理より資料説明

(教育委員会事務局・笹田 学校適正配置担当課長より補足説明)

(3) 質疑応答

### 6 質疑応答の内容

(ご質問・ご意見：1人目の方)

- ・ 15ページにありますね、「築港小学校の存続」にあります、「特色化により今後の複数学級化を目指しつつ」というところのですね、「複数学級化」というのは、例えば人数、児童数が減った場合には、学級数が増えるんじゃなくて、少なくなったり、例えば1、2年生を一緒にする、3、4年生を一緒にする、5年生、6年生を一緒にするといった、3学級になることもあるという意味なんですか？これはあくまでも増えた場合には複数の学級になるということなんですか？その辺を詳しくお願いいたします。

#### (村上 港区役所協働まちづくり課長代理)

- ・ お答えさせていただきます。ただ今、ご質問いただきました、「特色化により今後の複数学級化を目指しつつ」といったところの複数学級でございますけれども、いくつかの学年が一つの学級になる、これは複数学級ではございませんでして、複式学級と言います。
- ・ 資料の中でいきますと、28ページのほうをご覧くださいませでしょうか。28ページのところでご覧いただきますと、ただいまの、例えば築港小学校のところで校区にお住まいの方の人口を書かせていただいております。
- ・ こちらのほうが、先ほども少し触れましたように、他の学校選択制とか、そうしたことがなければということで、純粹に人口ということだけでございますけれども、小学校においては1学級35人の編成ということになってございます。
- ・ では、例えば4歳のところが、今築港小のところで校区内にお住まいの子どもさんということで言いますと35人、3歳のところで43人、1歳のところで37人、0歳のところで49人といったように、35人を上回っているということでございましたら、複数の学級、2学級以上ということを満たすことができるというふうに想定しておるところでございます。

#### (ご質問・ご意見：1人目の方)

- ・ 私が考えていたのと違いました。了解しました。ということは、次の16ページ、ステップ2、下にありますね、今後、築港小の小規模化が進行した場合は、さらに統合を再検討する、これに関わってくるわけですね。それでわかりました。ありがとうございました。

#### (ご質問・ご意見：2人目の方)

- ・ すいません、同じところなんですけれども、特色化させるということは、どなたが特色化していただけるんですか？教育委員会が協力していただけるのですか？

#### (教育委員会事務局・笹田学校適正配置担当課長)

- ・ 今後の特色化につきましては、教育委員会、学校、区役所と一緒に築港小学校の特色化について検討していくということになります。

#### (ご質問・ご意見：2人目の方)

- ・ では、今はされてないわけですか？

#### (教育委員会事務局・笹田学校適正配置担当課長)

- ・ 統合後の特色化について、今後検討ということになりますが、現在の築港小学校も、どこの学校も特色ある取り組みをしているところです。今回、再編整備計画を策定するにあたって、築港小学校の単学級の状況、また学級数が少ない状況だけれども、今後、子どもの数、まちづくりとセットで、子どもの数が一定増えていくような取り組み、複数学級を目指していくということの特色化というものについて、これから区役所、教育委員会、学校と一緒に取り組んでいきたいと思っております。

**(ご質問・ご意見：2人目の方)**

- ・ では、例えば、どのようなことをされますか？

**(山口 港区長)**

- ・ 取り組みの内容については、今のところ英語教育に力を入れたいと思っています。
- ・ ただ私達が言っても、学校がやれる状況でなければいけませんので、ネイティブの先生が常駐できるような予算を取れないか、また築港にあるいろんな、海遊館さんとかレゴランドさんにも行って来たんですけども、地元の企業の方の力もお借りしながら、この築港にあるからこそできるような教育をしたいというところで、学校や民間の方とも話を始めているところです。令和11年に小学校の再編があるわけですけども、そのときからスタートしても間に合いませんので、できるだけ早く築港小学校の特色化については、例えば来年の学校選択制の説明会のときあたりにはもう打ち出せるようにはしたいと思っています。以上です。

**(ご質問・ご意見：2人目の方)**

- ・ はい、ありがとうございます。もっと特色化していただかないといけないと思いますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

**(ご質問・ご意見：3人目の方)**

- ・ 今の特色化に関連してですが、実際には、区長がおっしゃっていただいたように英語のそういう教育も非常に結構かと思いますが、地域と小学校の校長先生などと一緒になって、いろいろ工夫もしながらやってるわけです。
- ・ 要は、生徒の人数が少ないことから、学校の先生の数も少ない、先生が頑張っていたいで、いろいろやっていたはずですが、結局その先生の人数が足りないということです。
- ・ 足りないと事務的なこともしないといけない、だから確かにいろいろ工夫もして、これもしよう、あれもしようというのは結構なんですけど、実際には先生の数、増やしてもらわないとどうにもならないわけです。
- ・ で、加配です。教育委員会は、加配してくれるのですか。
- ・ そこをお聞きしたいのですが、言葉の上だけで、あれもしよう、これもしようも結構なんですけど、実際それをやってくれる先生がいないと、どうにもなりません。

**(教育委員会事務局・岡永学校適正配置担当課長代理)**

- ・ 今、教育委員会が加配できるのかということですが、公立小中学校の教員定数は、「公立義務教育小学校の学級編制および教職員定数の標準に関する法律」、いわゆる義務標準法というものと、各政策目的による加配と定数に基づいて、国から配分されております。
- ・ この人件費は、国が概ね負担するということになってはいますが、それに加えて大阪市独自で、取り組んでいる習熟度などを推進している市独自の加配等があります。これは市が全額人件費を負担することとなっています。

- ・ 先ほど申しあげました義務標準法においては、各学校の学級数において教職員数が決まっているため、市の加配というのは、トータルのところもあるかと思いますが、この後出てくる区独自で取り組んでいく教育の特色化というところの部分で検討されていくことになるということです。
- ・ その検討は当然、教育委員会も一緒になって考えていきますが、教員の先生の負担等については、働き方改革等もありますので、教員の先生の事務的な仕事の繁忙を軽減するために、スクールサポートスタッフであるとか、教員でない仕事の部分、今まで教員が担っていたが、教員が担わなくてもいいところは、サポートスタッフ職を雇用するなど、教員が児童生徒、教育により向かっていけるような取り組みを引き続き行っていきたいと思っています。

#### (ご質問・ご意見：3人目の方)

- ・ なにか、はっきりしませんが、いろいろ条件ばかり付いて、やるのかやらないのかどちらですか、はっきり言ってください。

#### (教育委員会事務局・岡永学校適正配置担当課長代理)

- ・ 今この場で加配を築港小学校に付ける付けないというのはお答えしかねるところになります。

#### (山口 港区長)

- ・ ちょっと補足してよろしいですか。すいません。基本的には再編した学校に加配を付けるのが基本です。そこをあえて「学校を残す」という選択を取るために、残した方の小学校に加配を打てるかということ、教育委員会として「今すぐ出来ます」というのは前例がないので言えないと思うんです。
- ・ 特色のある教育をしたいという時には、いろんな手法があります。教員そのものを加配する方法、プリントを刷るなどの雑用を担うスクールサポートスタッフという人員を増やすとか、そこには区の予算とかを使うといった手法もあります。
- ・ あと生野区時代の話をする……その前にお話させてもらいますが、生野区の実績を踏まえて、港でもやれると思って言っているみたいな批判を結構いただいたので、ちょっと残念だなと思うんですが、事例としてあるのでシンプルに紹介だけさせてください。
- ・ 生野区でもキャリア教育に力を入れるために、産官学連携コーディネーターという予算を区の方でその再編インセンティブの中から、区で雇って学校に派遣するといったこともやっていました。
- ・ 実際、学校の先生は、なかなか民間企業と調整してプログラムを作ったりといったところを忙しくてできないので、そこを代わりにしてきました。そういった事例もありますので、今すぐに担任の先生や子どもをサポートする先生を、ばっちり加配で配置しますというのは今すぐ断言はできないんですけども、チーム学校として充実するように、学校の先生の負担が増えないようにしながら、特色化するためのチームを作るようにはしっかり努めますので、そこはお約束します。以上です。

#### (ご質問・ご意見：3人目の方)

- ・ 区長、それは区役所の中につくるということですか？

### (山口 港区長)

- ・ 基本的には「チーム学校」というのは、今の学校の考え方です。今、学校にはスクールカウンセラーとか、スクールソーシャルワーカーとか、例えば図書館のサポーターとかいろんな人が入っています。
- ・ このことを「チーム学校」と国も言っているんですけども、そこに区役所から送る人も入っていたりとか、教育委員会から送る人が入っていたりとか、そういう形で築港小学校の特色化をするための体制をしっかりと作りますということです。区役所の中に作るというよりは、学校の中に作るんだけど、そこにいろんな人を区役所もしっかり配置できるように考えますということです。

### (ご質問・ご意見：4人目の方)

- ・ 現役で今、小学生の子どもを育てていますので、リアルな意見として、さっき複数なんだっけ、複数学級と複式学級も分からない人とか、いらっしゃって、大変ちょっとびっくりしている中です。
- ・ 先生の数とか、子どもはすごく細やかな支援、今受けさせてもらっています。
- ・ 例えば普通級、通級、支援級という3つ、1学年だけでその3つの学級があるんですよ。それだけでも先生すごく頑張ってくださっていると思いますし、その中で特色化によるっていうのも、もちろん私は親として、例えばこの学校に来てよかったっていうのは、特色があるから、それはプラスアルファあればいいと思うんですけど、親が望んでるのって、基礎学力、まず絶対に。
- ・ その中で、前回の説明会でも何か学校選択制のせいで、何か学校の生徒少なくなるんじゃないかって、選択ができるから、そこに行けるんです。
- ・ 学校、子どもたちのことをしっかりと話し合う場だと思って来たので、僕の思うなんかその特色とか、そういうことを説明してほしい場じゃなくて、私はリアルに前回でも、中学校まで自転車通学できませんかとか、もっとバス、スクールバス導入してもらえませんかとか、そういう具体的な意見が1回目も2回目も3回目も出てないっていうことが、すごくびっくりします。
- ・ 先生ってね、世の中に溢れてるんです。例えばこの中でも、昔、学校、子どもに何か教えてたよっていう人はたくさんいると思うんですよ。その人たちに頼んだりとか特色っていうのは、後でもいくらでも出せるんですよ。
- ・ この令和9年に向けて、子どもたちが困るであろうということを、具体的に解決できる場にしてほしいなと思っているので、具体的な問題点をぜひリアルに、今保護者の人に出して行ってほしいなと思います。
- ・ 私は自転車通学か、スクールバスの導入をお願いしたいと思います。中学校についてですけども、以上です。

### (村上 港区役所協働まちづくり課長代理)

- ・ すいません、今お話いただいた自転車とスクールバスの関係のことですが、さきほど少しご説明をさせていただきましたように、この後、再編整備計画が策定された後に、

検討会議を立ち上げて、具体的にはその検討会議の中で議論をしていくということになってまいります。

- ・ ただ、今おっしゃっていただきましたことと言いますと、例えば自転車のことで申し上げますと、今、教育委員会の方で、一旦ちょっと今検討をしていただいているところということで、まだこうなるということ、決まっているということではありませんけれども、一つの考え方として検討をしていただいているという状態ですので、できるとか、できないとかということが、今お答えできるところではございません。
- ・ それからスクールバスのことで申し上げますと、こちらのほうも今どうということではございませんが、そうしたことの必要性と申しますが、そうしたのも一つの課題として、さきほどご説明もさせていただいたように、通学の仕方と言いますか、そうしたものを検討する中のテーブルの上の一つということには、なるかなというふうには考えてございます。
- ・ ただ、いずれにいたしましても、そういった部分も具体の検討というのは検討会議が立ち上がった後で、具体的な検討が始まっていくということでございます。

#### **(ご質問・ご意見：5人目の方)**

- ・ 私も保護者の意見なのですが、今ちょうど話に出た42ページの学校適正配置検討会議ですが、こちらは地域、保護者の方が参加できるものなのでしょうか？

#### **(教育委員会事務局・笹田学校適正配置担当課長)**

- ・ 学校適正配置検討会議につきましては、地域の方、保護者の方の代表の方、例えばPTAの方など、その辺りのメンバーに関しては、それぞれの地域、保護者、区役所の方でメンバー構成については考えていくという形になります。地域や保護者の方々の意見はそこで反映していくというような形にはなります。

#### **(山口 港区長)**

- ・ ちょっと補足します。学校適正配置の検討会議なんですけど、概ね今までいくつかあった中でいくと、各学校のPTAの方が2～3名、それは役員会の中というか、学校にお願いしてPTAの中で選んでいただいて、出てきていただいたということがほとんどでした。
- ・ 公募されたところがあるかどうか、ちょっとPTAの中のことなんで分からないんですけども、あとは地域の方は、地域の方のご推薦というか、地域から選ばれて、また数名来られていて、それが全部の中学校に関わる人たちで構成はされていました。
- ・ それでPTAの方が検討会議をやる前に、皆さんに意見を聞いてから持って来られるということが多かったです。地域の方も同様だったんですけども。
- ・ 意見が伝わるようなやり方をまずするというのと、実際手を挙げたいという方がいらっしゃったら手が挙げられるように告知をするようには、今覚えておきますので。
- ・ 実際に立ち上がる時に、ちょっと先になるんですけども、その際にはそういう形がとれるか、PTAの方とか学校とまた相談して周知させていただきます。

#### **(ご質問・ご意見：5人目の方)**

- ・ ぜひよろしく申し上げます。

### (ご質問・ご意見：6人目の方)

- ・ 私は小学生の保護者でもないし、中学生の保護者でもないですが、この築港で長年育ててもらって、子どもは宝やと思っているし、これからこの街を背負ってもらう方なので、すごく大切に思っています。こういうデリケートな問題に関しては、とことん話し合っただけで決めた方がいいです。
- ・ ちょっと私、見落としがあったら申し訳ないので、もう1回、再度聞きますが、ステップ2、16ページ下のところに、今後、築港小の小規模化が進行した場合とありますが、その小規模化というのは、人数で決まるのでしょうか？
- ・ この人数以下になれば小規模化、そこからまた話が、統合というか、そういう話を持って行かれるのかどうかを聞きたくて、万一その話を進めていくのであれば、またこのような説明会を開いていただいて、じっくりと検討してもらえるのかということをお聞きしたくてご質問しています。

### (教育委員会事務局・笹田学校適正配置担当課長)

- ・ 大阪市において、適正配置、いわゆる統合等を検討する基準が決まっています、全学年が単学級であること、児童数が120人を下回るとか、いくつか基準があります。今回検討させていただいている学校についてはその基準に当てはまっているという状況です。
- ・ 全学年で単学級の状況にあるのですが、今そうだからすぐに統合しますではなく一定大阪市の方で、今後将来的な見込みも含めて、今後もそれが続くという状況であると見込まれる学校に対して、このような計画を各区で考えています。
- ・ 築港小学校については今、単学級の状況にあるけれども、少し子どもの数が増える見込みがあること、現実問題として小学生の足で運河を渡るということとか、いろいろな状況のもとで、築港小学校については残るといって計画をしています。
- ・ 複数学級を目指すという方向性では頑張るけれども、どうしても、さらに子どもが少なくなり、一つの学年でクラスを構成できないことが、状況が起きてきた時には、もう1回、統合ということを検討しなければならない。もし築港小学校の統合をもう1回考えなければならないことになりましたら、同じようにこのような計画を検討し、こういう場を持ってという形になるとお考えいただきたい。

### (ご質問・ご意見：7人目の方)

- ・ 小中一貫校のことを今更蒸し返しても、仕方がないかもしれないですけど、24ページで、やたなか小中一貫校と、咲洲みなみ小中一貫校と比べて、小中一貫校にしても子どもの数が増えないと予測したいのが出ているのですが。
- ・ やたなか小中一貫校とか、近鉄南大阪線にわざわざ地下鉄から乗り換えて、駅から歩いて10分もかけて行く小学校と、咲洲みなみ小中一貫校なら、モノレールに乗って、わざわざ行かないと駄目ですし、大阪市内で小学生の子、小学校1年生の子どもを持っていたら、わざわざモノレールに乗せようと思わない。
- ・ わざわざ地下鉄で1回乗り換えて、また近鉄に乗り換えて小学校に行かすのかと言われたら絶対行かないような小学校と比べて、伸びる数がどうかって言われたら、地下鉄1本でここなら来れる、駅から歩いて3分ぐらいで大人なら来れる、子どもでも10分も絶対かから

ない、普通に小学生が通うということを考えたら、こういうアクセスがすごく悪い小学校と比べてどうですかというのは、すごくナンセンスだと思うのですが、どうですか？

**(教育委員会事務局・笹田学校適正配置担当課長)**

- ・ それは小中一貫校について、例えば築港地域のほうが、アクセスがとていいから、可能性としてあるのではないかという、そのようなご意見ということですか。今のご質問の趣旨としては？

**(ご質問・ご意見：7人目の方)**

- ・ そうですね。やたなかとかですと、小中一貫校にしたところで、元々子どもが増える見込みはほとんどなかったと思うんですよ。
- ・ 他の場所から行くかと言われたら、アクセスが悪すぎてなかなか行けないと思います。そのようなところと比べて、ここが増えてないから、ここも増えないだろうみたいなふうを考えてるというのが、もう、本当にちゃんと考えているのかなと思うのですが、どうですか。住んだことあるのかなと思うのです、大阪市内に。

**(教育委員会事務局・笹田学校適正配置担当課長)**

- ・ 小中一貫校についての検討ということですが、確かに当時、やたなかですとか、一定特色ある教育で全市から子どもたちを募集するというような形での小中一貫校という形でスタートしたもの、あるいは学校の統合に伴って小中一貫校になったもの、いろいろあります。
- ・ この地域、地域でアクセスがいいというようなこともあって、小中一貫校というようなことの検討も過去になされたと聞いています。
- ・ 現在、やはり少子化が進んでいるというような状況の中で、市内全体から募集するという形で適正規模を確保するという手法に関しては、今、市内全体の募集を何らか築港小と築港中で行ったとしても、それはアクセスがいいというのは確かにそうですが、全体的な少子化の傾向の中で、ここに新たに小中一貫校で、例えばその子どもたちを外から呼び込むという形、全市募集という形で、小中一貫校を設置するということを検討しても、通学区域の児童生徒数が、今もう実際に少ないというような状況になっているので、校区内で児童生徒の全員が通学したとしても適正規模にならないという形で、今お話をしたところから、築港地域において新たに小中一貫校を設置することは難しいというような判断に至ったところになります。
- ・ もちろん統合等を機に、小中一貫校の検討というのは他地域でなされている部分もありますけども、それは統合によって一定適正規模を確保して、その上で小中一貫教育をしていこうという形になります。今の状況の中で、いわゆるアクセスというようなところの利便性だけで、例えば子どもさんの適正規模を確保できるということに関しましては、今、少子化が進行している状況を考えてしんどい、築港地域においても、しんどいというようなところが我々の検討した結果ということですよ。

**(ご質問・ご意見：7人目の方)**



- ・ ということは結局、今まで小中一貫校を何個も作っているけど、全部失敗しているということですか？

#### (教育委員会事務局・笹田学校適正配置担当課長)

- ・ 小規模校の解消という意味で小中一貫校を設置したことではないので、失敗というふうには考えておりません。

#### (ご質問・ご意見：7人目の方)

- ・ わかりました。もう1個いいですか。万博とかを機会にして子どもを増やしたいみたいな記載があるんですけど、正直この辺、万博に向けてホテルばかり出来ているんですよ。
- ・ だからその万博とかIRを機会にして子どもを増やすというのは、今の状況から見て不可能じゃないかなと思うんですけど、どうなんですか？

#### (山口 港区長)

- ・ 先日来、かなり築港、私も歩いたり、この間はコーシャハイツの中を見せてもらったりとか、色々してるんですけども、まずは住宅の確保というところが大事だと思っています。
- ・ みなと中央病院の跡地の解体が決まりまして、来年度から3年ぐらいかかってしまうんですけど、解体して、そこにはファミリー向けの住居の供給を依頼しているところです。
- ・ これは大阪市が事業主体ではありませんので、その事業者が平成26年にも当時の市長から要望書としてファミリー向けの住居を建ててほしいと。マンションですね。改めて私からも、昨年度、区長の名前でも要望させてもらってまして、そのとおりに進めばファミリー向けの住居がある程度確保される。将来的には市営住宅の建て替え、もうちょっと先なんですけれども、それも予定はされているところです。
- ・ 万博そのものは、もう2年ぐらいしかありませんので、そこで大幅に人口が増えるというのは、すぐに確定できるものではないんですが、IRは7年後になります。
- ・ 今、IRの事業者と面談を要望してまして、それはIRで働く人、島の中で働く人が、約1万5000人の雇用が発生します。その中のやっぱり何分の1かでもいいから築港に優先的に住んでいただきたいということで、どういう計画を考えているのか、雇用した人たちの寮とか官舎みたいなものですよ、そういう社宅みたいなものをどこに考えているのかということ、早いうちから声掛けをして連携したいと思っています。
- ・ そういう意味ではどちらかというと、万博よりも、そのあと引き続いてのクルーズ船の受け入れも含めた観光客の増加、そこに向けて働く人たちが住む場所としての住居の確保と並行して、事業者とも話をしたいと思っています。以上です。

#### (ご質問・ご意見：8人目の方)

- ・ 築港一丁目に住んでいます。みなと中央病院のすぐ近くです。それで、今お聞きしまして、単なる約束でないですよ、住居系っていう、随意契約ですよ。港区の再開発の。
- ・ ですから、絶対守らなアカんですよ、住居系っていう、それ単なる儀礼的なね、そういう市長とJCHO（ジェイコー）ですか、との約束じゃなしに、公共事業の、あそこの、どこや、安倍さんとかいろいろ問題になった、そう、森友学園と一緒にね。

- ・ そういう契約なんで、それと取り壊しとか、来年からということ、新年度からということでしょうか？
- ・ そうなるとね、今地下鉄の工事は始まっているわ、正直、話飛んでしまいますけども、ちょっと正直衝撃でした。全然そんな話聞いてなかったんで。
- ・ そういう状況ですので、それは絶対、住居系を中心にして、それで診療所も入るという前提で議事録にも残っていますから、市議会の。ちょっとそれを指摘したかったので、質問させていただきました。

#### (細江 港区役所エリア開発推進担当課長)

- ・ ご質問ありがとうございます。今ご指摘いただきました、みなと中央病院跡地のところですね、これは弁天町で今、建てている交流会館の横に区画整理記念事業ということで移転して、その後、医療機関の確保、地域からも色々ご要望いただいているところは十分認識しております。
- ・ あそこの敷地ですね、病院のほうがようやく今、入札の公告を先日行ったということで、12月19日と聞いているんですけども、そこで入札の開札があって、今でも複数社の業者から入札参加したいということで、まあ順調にいけば、業者さんが決まって、入札決定から契約して約40ヶ月の工期が見込まれるということで、年数でいくと3年3ヶ月ほど。
- ・ やはりあのかなり大きい施設であるのと、地中に杭などもかなりあるということも聞いていますので、なかなかちょっと時間がかかるんですけども、一定、この築港地域の中でまとまった敷地が出てくるということと、今回、非常に跡地の活用というか一番大事なかなと思っています。
- ・ 築港で一番人口が多かったのが昭和45年の時に、だいたい8643人という国勢調査の結果があるんですけども、直近の国勢調査で6307人という結果で、そこからいくと2000人ちょっと人口も減ってきてるけども、みなと中央病院の跡地のところでいくと、マンションにしても結構なマンションが建つかない見込まれています。
- ・ そこで300世帯ぐらいのマンションが仮にできたとしても、1000人近く人口がちょっと回復するんじゃないかなという期待もされるところです。
- ・ 港区役所の方も、しっかりそこは今、築港天保山まちづくり計画というものも、平成30年に作っているけども、その時点ではこの跡地のところの記載はなかったんですけども、そのまちづくり計画にしっかりと住宅、そういう医療の機会の確保も含めて、大阪市港区の大阪市のオフィシャルの計画に打ち出しまして、JCHO（ジェイコー）ですね、国の今の売却の主体の地域医療推進機構の方にしっかりとそこに、この計画に基づいて売却を進めてくれということで、取り組んでまいります。
- ・ また南の地域ですね、とくに築港の南エリアのほうは比較的、2丁目のほうとかもね、結構ちょっと駐車場の空き地があったりとか、ちょっと開発の今後の様子を見ながら、土地利用をどうしようかなと考えているところもあると思いますので、やはり築港のまちづくりにとって人口が増えていくような形で、区としてもしっかりとこれから地域の皆さんと一緒にまちづくりの将来像を描いていけたらと思っていますので、引き続き、そういったところにもご参画いただけたらと思います。よろしくお願ひします。

### (ご質問・ご意見：9人目の方)

- ・ 前回の港中、築港中学校での説明会で一番最初に質問された方が中学校の統廃合は、その条例にはないのではないかというお話でした。
- ・ 区長の答えでは、中学校も、このままでは減ってしまって、黙って見とくわけにいかないというような、感じのお話だったと思うのですが、条例に定めのないものまで意欲を燃やしてやるというのはどのようなものかなと思うのです。
- ・ その時、ちょっと感じたのですが、子どものためと言いながら、自らのため、要は維新政治に気に入ってもらう、要は子どもをだしに使うと、これね、お為ごかしなんです。
- ・ 子どもが可哀そう、可哀そうと言って、少人数学級を、また、子どもの本当に寄り添った教育ができる環境にあるのを、多数のクラスにね、やると、小学校を潰してしまうというのは、これはちょっと問題じゃないかなと思います。
- ・ それとですね、今日配ってもらった資料の中で、前回、私、学校選択制これは小学校減らすための一つの手段としてやったのではないかという話をさせてもらいました。
- ・ その時にね、教育委員会の方がお話ししたのは、学校選択制をしたことに対してアンケートをとったら、良かったと、良い制度だというのが7割あったということでしたけども、学校選択制の目的は小学校を潰すことですよ。
- ・ これは橋下さん、橋下徹さんが言っていたのですが、そうすると、学校選択制は、途中駅なんです。
- ・ 小学校を潰すことが、最終、最終ゴール。その最終ゴールまで説明した上で、アンケートをとれば、このような結果にはならなかった。そのように思うのです。その点ではね、この掲載というのは、フェアじゃないと思います。
- ・ それで、不登校、いじめと不登校、今、親御さんにとっては、非常に心配な問題なんです。こういった子どもさんのいろんな悩みとかに、先生が本当に寄り添って教育していくためには、やっぱり少人数学級でなかったらできないんです。そこら辺をしっかりとってほしいと思います。
- ・ 前回の質問で、いじめられた子が、クラス替えできなかつたら、いじめる子と離すことはできないということで、それは可哀そうだと。
- ・ 何でもかんでも子どもが可哀そうだから、少人数学級をやめて、小学校を潰せというようなことですけど、これも本当に子どもをだしにして、学校を潰すというようなことです。
- ・ その時に感じたのですが、いじめられた子に問題があるのではなく、いじめる子のほうに問題があるわけですけども、何かいじめられる子を他所にやって、それで当座の問題を回避すると、何かいじめられる子の方が何か問題があるような、悪くないのに、なんで逃げないといけないのかと、そのような感想を持ちました。

### (教育委員会事務局・笹田学校適正配置担当課長)

- ・ 子どものために規模の確保ということが必要というふうに大阪市では考えています。
- ・ さきほど小規模にかかる課題をお話はさせていただきましたが、実際にクラス替えができないという状況にある、子どもの数が少ないこと。
- ・ 少人数学級を私達は否定しているのではなく、学校の学級数、1学年当たりの学級数を一定確保して、子どもたちが横の繋がり、子ども同士の多様な友達の人間関係が作れる。多様

な一定の人数の中で学び合ったり、いろんな意見を出し合ったり、あるいはぶつかり合ったりというようなことも含めて、義務教育の学校で、それぞれの学年に応じて子どもたち同士の中で、人間関係を育てていくことをやっていくには、一定の学校の規模が必要だということで学校の適正配置というのをやらせてもらっています。

- ・ 適正規模と言うと、数の問題と捉えられてしまうかもしれないですけども、子どもたちの教育のためには、一定の学級規模が必要ということで、一定の人数がいれば、その少人数の指導というようなこと、例えばグループに分ける、班を分けたりとか、そういう多様な少人数の指導ということも可能になりますし、そのためにやっています。それは私達の自らのためではなく、子どもたちの教育環境のため、子どもたちに多様な学びの機会というのを、人間関係づくりの機会というのを持ってほしいということです。
- ・ 例えば、しんどくなった状態、いじめなど、トラブルが起きたときに、子どもたちの関係も考慮して、クラス替えによって、それは別に追い出すとかいうことではなく、クラス替えによって1回離れて他の人間関係を作る中で、子どもたちが、救われていくというようなことも含めて、複数の学級が必要だと考えているので、一定子どもたちの発達、学校教育のための学級規模を確保しようとしていることが一つになります。
- ・ あと、学校選択制に関して、橋下市長が当時、子どもたちの選択の結果で、学校統合ということも関連付ける発言があったということは知っています。
- ・ ただ、そういう橋下市長が公約の時に学校選択制を掲げて、当選をされて、それを受けて、その導入については教育委員会として検討をしてきたという経過があります。
- ・ その時に、PTAの代表、公募の方、地域の方、学校関係者みんなで集まって、熟議というような会議を13回に亘って実施をしてまいりました。
- ・ その中で、教育委員会、その熟議のメンバーの中からも、これは学校統合と結び付けたものなのかと質問があった際に、教育委員会としては学校統合と学校選択制は、全く別のものとして考えていることを前提で、議論をしていただきました。
- ・ その中でいろんなそれぞれの地域の立場、保護者の立場での議論を踏まえて、子どもたちの最善の利益を図るために学校を自ら選べる形の制度の改善、学校選択制を導入してきたところです。その学校選択制が統合のゴール、ゴールは統合だというようなことに関しては、教育委員会としては、皆さんの熟議の結果を踏まえて進めてきたため、そのようなことではない、別のものだと、ここで明確に否定をさせていただきたいというふうに考えております。

### (山口 港区長)

- ・ もう一つ補足させていただいてよろしいでしょうか。やはり最初の発言、やっぱりちょっと失礼かなと思います。
- ・ 私は、私個人のいわゆる身を守るためであるとか、そんなためにこのようなしんどい、地域の方も本当にご苦勞をおかけする、学校現場にもご苦勞をおかけする、そして子供たち保護者に対してもやはり大きな転換点となってしまふ、この学校適正配置というものを、好き好んで出世のためにしようと思ったことは一度もありません。
- ・ ただ、前回の説明会の後も、いくつかご意見いただいて、確かに子供たちが可哀そうという言葉は、それは今通っている子供たち、楽しく過ごしている子供たちにとって、大変失礼な言葉だったと思います。そのことに関しましては、元々私も3年間小さな学校の校長でしたので申し訳ないと思っています。

- ・ただ学校現場が今、教員もどんどん若くなっています。隣のクラスがない、同じ教科の先生が少ない、先輩も若い。そういった中で非常に厳しい、学校運営の状況がどんどん厳しくなっていくというところに関しまして、やはり学校環境、教育環境を充実させるためには、やらねばならないというところの思いは持っているところです。以上です。

#### (ご質問・ご意見：10人目の方)

- ・まず結論から申し上げますと、僕は学校再編に賛成です。というのも、この問題は少子化という港区だけでなく、国全体の問題であって、突然、来年、再来年、何年先であれ、突然この少子化問題が回復しない限りは、いつかは絶対取り組まないといけない問題だと思うんですね。なので、やるなら早くした方がいいと思うんです。
- ・先ほどお子さん連れの方が質問された時に、検討しますという回答をされたと思うんですけども、これも僕、当然やと思うんです。まだ未確定要素が多すぎますので。
- ・できもしないことをぱっと言われるよりは、検討しますの方が、僕からしたらすごく説得力があるんですね。で、すみません、ここまで何かあれば。まだちょっとあるんですけど、よろしいですか。15ページ。ごめんなさい、先ほど言い忘れたんですけど、先ほど検討しますと言われた後、あちらの方が、それですぐ分かりましたっておっしゃったじゃないですか、すごく理解が深い方だと思うんですよ。まず僕はそれをすごい、尊敬するなっていう、自分の子供のことやのに、すごいと思います。
- ・スクールバスの件なんですけど僕はそれは賛成です。で、あると同時になんですけど、この八幡屋小学校、港晴小、池島小ですかね。それと築港小から八幡屋小の距離はどれぐらいなんですか？

#### (村上 港区役所協働まちづくり課長代理)

- ・ちょっと正確には分かりませんが、概ねということでお許しいただけるならば、概ねですが、おそらく1.5キロといったぐらいでしょうか。それぐらいだと思います。

#### (ご質問・ご意見：10人目の方)

- ・1.5キロですか。僕は築港小も含めるべきだと思います。可能であればです。その理由なのですが、僕が小学校のときは、通学路というのは友達とワイワイ喋りながら帰るのがすごく楽しかったんです。なので、通学路というのはすごいコミュニケーションの場でもあるのかなという、個人的な感想なのです。
- ・1ページ戻って14ページなのですが、港区西部地域の小学校の児童数の池島小の1年生の女の子の数が1人しかいない。これだけで、もうすぐ実行すべきだと思います。もうこれすごく可哀想なので。僕は賛成です。
- ・皆さん、後で僕に何を言っても構わないのですが、皆さん、結構この区役所側の方に対して、色々これをやってくれ、あれやってくれと言いますけれど、それを言うのであれば、皆さんで官民一体になって、進めたらどうかと僕は思います。何でもかんでも官任せではなく、自分たちで主体性を持って行動すれば、何でもできると思うのです。

**(ご質問・ご意見：11人目の方)**

- ・ 質問一つは、こういう学校の統廃合という大変大きな問題ですから、その必要性が内部から湧き上がってきているかどうかというのは、大変大きいと思うのです。築港中学校も単学級ゆえに統合ということですが、築港中学校の中から単学級ゆえの教育困難があって、どうにもならないという声は上がっていたんでしょうか？

**(教育委員会事務局指導部・山崎 指導主事)**

- ・ まず築港中学校の中からということですが、私も担当指導主事として、学校の様子もこの間見させていただいているところです。
- ・ 中学校でいえば、先ほど話があったみたいに、人数が少ない中で、先生たちの努力もあって、非常により良い教育環境の中で、子供たちの学習環境が保たれているというふう実感しています。
- ・ 一方、私も元中学校の教員としては、運動会、体育大会の規模というものが、より一定数確保された中で行われると、より充実した効果があるのではないかと、最近での話の中で言えば、修学旅行を実施するときに、人数の少ないところから、いろいろ先生方が苦勞していると聞いています。

**(ご質問・ご意見：11人目の方)**

- ・ はい。特に上がってないというふうに受け取りましたが、このプリントには授業の充実に課題があるというふうに書かれていました。そこまで言っているのかなという気持ちがあります。
- ・ 二つ目は、この築港地域、地域から築港中学校の単学級ゆえの問題があるから、もうそろそろというような意見は出ていたのでしょうか？

**(山口 港区長)**

- ・ すいません、私からお答えしましょうか。地域からというのは、よく地域の定義はどうなんだというのは何年もずっと再編やりながら思うところなのですが、特に築港中学校はやはり落ち着いてきて、過去ちょっと荒れた時代があって、皆さん大変頑張っていたでいて、学校に入り込んだりとか、いろんなことで見守っていただいて、落ち着いて、いい学校であるという声の方が大きいというのが正直なところ、今聞いているところではあります。
- ・ ただ一方で、区役所に寄せられる声の中では、こういった場ではちょっと発言できないんだけどもということ、やはり子供が少なすぎて部活動だとか学校の行事だとかそういったところがしんどくなっているというところは聞いてはいます。
- ・ ただ、どちらかという大きな声は、築港中学校はいい学校やという思いは、しっかり聞いております。以上です。

**(ご質問・ご意見：11人目の方)**

- ・ わかりました。実は私は、ある定時制に割と長く勤めていまして、最後のほうは、いわゆる単学級で、私自身1年生から4年生まで一つのクラスを最後まで持ち上がったというふうなことがありますね、いろいろ問題を抱えた生徒が多かったものですから、ずいぶん気構

えて始めたんですけども、だんだんやっぱり馴染んできて、お互いを尊重し合うような関係がやっぱり作られていって、卒業に至るといようなこともありました。

- ・ 単学級であるがゆえに、教育困難になりやすいかのようなね、そういうこの言い方というのはちょっとね、それはどうかなど。そういう現実を前にしてでも、それに合った形で対応していって、生徒の力も借りながら教育を作っていくというのがあるべき姿ですのでね。
- ・ ですから、この基準は、中学校は基準はないけども、基準から言って、もう問題状況だということに進めていくというのはね、もう一步、踏みとどまって考えるべきではないかというのが私の質問ではない意見です。

#### (ご質問・ご意見：12人目の方)

- ・ 15ページの下の方に、築港小学校の存続のところで、築港小学校は運河を超える通学路となるため、小学生にとってその距離と交通の安全面から問題がある、ゆえに残しますと単純に書いてあるんですが、視点が狭すぎるのではないかと。
- ・ 前回にも申し上げましたけども、小学校は地域のコミュニティの一つの核です。子供たちの数が減ってるんで、学校を統合しようとするのは、ある意味、ある意味合理的だとは思いますが。
- ・ でも、地理的条件から言いますと、港晴も池島も陸続きで、八幡屋小学校へ行ける。コミュニティも維持できるでしょう。
- ・ でも、築港地区は三方を海と一方を運河に囲まれて、小学校が、もし無くなったら、将来的にですけれども、コミュニティは崩壊する、可能性が出ます。
- ・ そういう意味で区役所と教育委員会だけでこの話進めておられるのは、地元に住む私にとってはちょっと狭すぎるん違うかなと、そのように思っています。以上です。

#### (山口 港区長)

- ・ 一旦いくつかいただきましたご意見、そうですね、まずは小学校が地域コミュニティの核であるというのは常々言われているところです。
- ・ 昨日、中央区の区長と話をしていましたのですけれども、中央区だと1個の小学校に7つの連合が入っているところとか、過去にだいぶ昔ですけれども、統廃合があったので、4つの連合が入っているみたいなどころがありまして、たまたま今、港区1小学校に1連合というか地域の塊という形にはなっているのですけれども、そうでない地域もあるということを、まずちょっと前提としては置かさせていただきます。
- ・ そしてですね、ただ築港、やっぱりこの陸続きではないというところは大変私も大きなことだと思っていますので、この資料にはあくまで教育的な観点でまずは書かしてもらっているのですけれども、地域にとって小学校が非常に、中学校ももちろんそうなのですけれども、大事なものであり、無くしてはいけないというところの思いは、区長としては受けとめているんです。
- ・ 区長としてはもう重々わかって受け止めている。片やもう一つ私は教育委員会の区担当教育次長という立場で、学校の教育環境の整備をしていかないといけないという観点からいくと、子供の数が減ってくることに對しての何らかの手立てというのが必要であるというの思っています。

- ・ ただ築港小学校を本当に残すと決めて、ここに案としてお示ししています。これを何とか守り抜きたいですし、先ほど地域の人と一緒にってというのは、もう重々、昔から地域の方も一生懸命取り組んでいただいているのは、私はもうよく、港区来て、港区かなり進んでいるほうですし、前回の説明会もたくさんおられたので、地域の方の思いとか主体性みたいなどころが熱いのは分かっているんです。
- ・ ただもう一つ、この機会に本当に一步前に進めて、今さきほど、これから子どもの数がどうなるかというのは見えていたと思います。例えば35人を超える年は2クラスになるはずなんです。1人も外に行かなければ。
- ・ さらに転入してくる子ども、入ってくる子どもを増やす、そのためにいろんなことをしていけないといけない。そうですね、さらにその後の数字は、普通に少子化にどんどんなっていけば、全国的にどうしても減っていくところを、やはり外国の方が働きに来たり、そして子育てをするという外国の方も受け入れて一緒にやっていくという未来がもう想定はされるわけです。
- ・ そういったところに、じゃあどんなふうと一緒に暮らしていくのかとか、どんなまちを作っていくのかというところは、本当に残すと決めた以上は、私は2クラスになると信じて、一生懸命やるつもりでいますし、地域の方もそこにしっかり、もちろんいろんなご意見を既に参加していただいていますし、一緒に取り組めたらなというふうに思っています。
- ・ あとさきほど、定時制のお話ありました。ベテランの先生とかね、しっかり子どもたちと密にやっぱり関係を積み重ねて充実した教育ができるというのはそのとおりですし、今もそれぞれの4つの対象になっている小学校だとか、中学校でももちろん頑張っていると思います。
- ・ だから子供の数だけで測るのはナンセンスだというのも一つの見方としては、十分わかるんですけども、中学校の方も国の方針、そもそもやっぱり子供の数がこれだけ減っている中での統廃合というところを進めていかなきゃいけない方向性と、あとは大阪市の条例も今中学校のほうの議論も進んでいるところなので、条例がないのにやるという形ではなく、いずれも中学校の再編も大阪市としてもやっぱり進めていかないといけないという方向にはなっています。
- ・ 今、目の前の子供たちにとっては、やっぱり満足して学校に通っていただきたいし、そのために学校も頑張っていますし、区役所も教育委員会も頑張ります。ただ将来絶対に来るこの少子化、どんどん迫ってくる少子化と教員不足に対しての手を打つのが、やはりもう議論を始めて動いていかないといけないという状況の中で始まっているということは、ご理解いただけたらと思います。以上です。

#### (ご質問・ご意見：13人目の方)

- ・ 皆さんいろんなご意見ありがとうございました。地域のほうをやっておりますので、どうもありがとうございました。また区長、色々ご意見いただきましてありがとうございました。
- ・ 本当にね、内容のある話をいろいろ聞かせていただいたと思いますんですが、今やっぱりこの少子化というものがものすごく問題になっているんですね。だから結局こういうふうな学校の再編とかいう問題も出てくるわけですけど、本当に今ね、港区の地図を見ましたらですね、築港、港晴、八幡屋、池島、この4つがものすごく人数少ないんですよ。子供たちが。



- ・ ということは、ここの地域のインフラがあんまりしっかりしてない。だから、こんな言うどあれやけど、区役所の近くがね、磯路から市岡から田中から、あの辺がみんなね、人がおるわけ。こっちが、池島からこっちが少ないんですよ。人数が。
- ・ それで、ずっと小学生の入学を見ても、やっぱりその人数を全部合わせて、今度、港中学校行くにしてもですね、やっぱり少ない。築港中学校から港中学校行ってもそんなに多くない。ということは向こうの4つの中学校が多いんですよ。それだけということはもうちょっと築港のほうに、そういうインフラや、今まで港湾局あり、大阪税関あり、いろいろな会社もあり、いろんなことで築港は人もたくさんおったわけです。
- ・ それが今そういう人たちが全部出て行ってですね、少ないんですよ、地域が。それで学校のほうもニーズが少なくなっていると、こういう問題が起こってくるということなんです。
- ・ 今さきほど、おっしゃいましたけど、地域のコミュニティがもたないんですよ。あまり人数が少なくなってきたら。だからその住吉神社でも神輿を引っ張る子がほとんどおりません。そういうことでコミュニティは壊れてくるんですよ。
- ・ だからこれはどうしたらいいのかなということで、まずは築港に皆さん方、住む方を増やすということですね。それで先日ですけど、中学校の港区の中での成績が非常に良かったと聞いておりますので、中学校で築港中学校が。それでほっとしてることなんですけどね。
- ・ そういうことで、この築港地域に皆さん方が進んで住みよいところや良いところやなというようなところを、我々はやっぱり地域の者としてもアピールしないと駄目なんです。
- ・ だからそういうことで、例えば今、小学校の前にイチョウ並木、綺麗なのありますね、ちょうど秋になって、非常に黄色い並木ができますので、それから第5コーポの前にも並木があります、黄色いの。これは大阪市の掃除をする立場から言うと大変なんですよ。
- ・ だけど、それをあえて残してくれと言いました、2~3年前ですわ、もうちょっと前やったかな。ということはやっぱりその築港地域全部をグレード上げてですね、築港を何かそういうふうな、人から見て魅力のある地域にする以外に、人が来てくれるのはいないかなと常にそう思っています。
- ・ だから中央突堤の空飛ぶ自動車のあの跡地もですね、実はそこに、ドッグランとか芝生を敷いてですね、いろんなアミューズな場所にしたかった。それをやっぱり今ああいうふうにまだなっていますけどね。そういうことで、築港地域を魅力ある地区にしたいというのが我々地域の者の要望なんですよ。
- ・ だから今いろいろお話を聞かせてもらって、今度あの市営住宅のほうの建て替えも、それからそのね、船員病院の跡地も、何かちょっと一緒に就いたと、やろうかという気になっていたと。それはありがたいことだとは思っていますよ。
- ・ だからこれから将来ね、ここの地域がひよっとしたら人口増えるか分からん、そういうために今築港中学校の跡地がありますね、あれを防災でちょっと残していただきたい。
- ・ それに何かを決断付ける前に一言、我々にちょっと相談していただいて、あの土地をどのように利用したらいいか、我々も考えております。こうやった方がいいんちゃうとか、いろいろな。だからその前に、市のほうで計画を出していただく前にですね、ちょっと我々に相談していただいたら、それをお願いしたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

**(ご質問・ご意見：14人目の方)**

- ・ 区長と教育委員会に聞きたい、歴史ってどう思われますのか少し教えて。築港小学校、築港南小学校と明治5年からできています。ちょうど終戦で20年の時に、爆撃受けて、それで無くなった、被災して無くなって、我々三先まで通っていた。
- ・ だけど、その時点で前の明治時代から続いているのを無くしているわけです。僕はもう初めから言っているけど、なぜなのか。我々がやめたのではなく、戦争で爆撃で燃やされたのだから。
- ・ そういう学校を、なぜ教育委員会が戦前からのずっと続いている学校をなんて昭和28年から開校とか、そういう話をするのかなと、どのように考えてるか歴史を教えてください。

**(教育委員会事務局・笹田学校適正配置担当課長)**

- ・ おそらく学校の沿革、学校の歴史が28年から始まっているが。本当はもっと明治の前から歴史があるということをおっしゃっているかと思います。
- ・ 教育委員会では、学校のおそらく明治ぐらいから、それこそ旧制の尋常〇〇学校から新しい学校に、こう分かれていった編成の図というものを私も拝見したことがあります。
- ・ すごく歴史があって、今の沿革というのは、学校の制度みたいところで切ったことは、おそらく経過があるかと思います。

**(ご質問・ご意見：14人目の方)**

- ・ 他所はみんな続いている。なぜ築港小学校だけ続かないのか。三先が昭和5年にできている。なんで築港小だけ、そうなるのかと言っている。絶対おかしい。

**(教育委員会事務局・笹田学校適正配置担当課長)**

- ・ 歴史のところについては、そのようなことがあることの認識もしっかり持った上でまたお調べさせていただきます。

**(ご質問・ご意見：14人目の方)**

- ・ どのような結果になったか教えてください。教育委員会のほうで揉んで。築港小学校が、明治からに復活しようとかいうふうにしてください。できるだけ。

**(ご質問・ご意見：15人目の方)**

- ・ 少人数学級、小規模校があかんという意見というのは、私いろんな人と喋ってますけど、全然聞いたことなく、先ほどから話を聞いていたら、結構、築港中でもそのようない話が出てきてないじゃないですか、中からは。
- ・ 小規模校が駄目だという、その小学校は条例があるけど、中学校は無いことを踏まえれば、なぜそこの意見が重視されずに、むしろ今、西区とか浪速区とか大きい人数になっているところのほうがいじめも多くて、むしろ、この前九条東の説明会を聞いていましたら、本田小学校という、多いところに通わせてましたが、子ども本当にしんどくなったため、少人数の九条東に移って物凄い良いと。だけど、ここもまた壊されそうになっているので、その

少人数学級の良さが、なんでそんなに過小評価、小規模校の良さが何故そんなに過小評価されるのかが、すごく疑問です。

- ・ それで港区役所のホームページを見たら、8月21日、小学校6年生の保護者向けの会、中身も踏まえた意見というのが出てまして、そこで見ても、もうなんていうか、もう統廃合せな仕方がないからという感じも出ているのですが、でも圧倒的には、皆さん築港中学校に行けないのならもう引っ越ししようかと思っているとか、そういう意見まで出てきました。
- ・ 今日、このこれが配られると思っていたのですが、何か区役所のほうでまとめられたものが配られ、これ全部が出ると思っていましたけど。
- ・ しかもその10月にその保護者向けの説明会を行ったと、少し書いていますけど、そこでどのような意見が出たかというのは知らされていないですし、言いたいのはその小学校の統廃合の問題と、築港の中学校の問題というのは、何故別問題にならずに、これを一緒にして、しかも中学校のほうが先という、1年延ばすにしても先に結論を付けなければいけないということに何故なるのかというのが、ずっと聞いてても全然意味が理解できない。
- ・ おしろその築港小学校をこれから特色あるものにしていきますとか、マンションも増やしていきますとか、今度IRの働く人たちもこの地域に呼べないかとか、築港を魅力ある街にして行こうっていう意気込みが逆に伝わってきまして、それで言ったら、なんか中学校をなくすというのはすごく矛盾しているような気がします。小学校、中学校は、やっぱり共にあってこそ、この築港の魅力をより活性化していくことができるのではないかなというのは、もう素朴に感じるところです。
- ・ その辺りこのインセンティブとか、教育予算を確保するために学校をなくしてコストを削減させてということだと思うんですけど、それをまた新たにね、特色ある学校づくりのための予算を活かすというのですが、何故教育予算そのものを増やすことにしてくれないのか、なんで今あるものの中で考えさせられなければならないのか、それを何でこの減らして、また特色というふうにさせられているのかというのが、すごく疑問なのですが、何か答えていただけますでしょうか？

#### (教育委員会事務局・笹田学校適正配置担当課長)

- ・ 少人数、小規模校の課題については、もうこの間、お話をさせていただいている、話の繰り返しになります。築港小学校も築港中学校も、本当に先生方の努力によっても含めて、すごくいい環境であると皆さんに言っています。
- ・ 今、実際に少人数、小規模の中で、いい関係を作っているところともありますが、今いい環境であるけれども、他の適正規模の学校でできていることが実はできていないこともたくさんあって、それが教育活動の中で、集団で行うような種目、体育の授業であったり、そのようなことができない、やはりクラス替え、ずっと同じ小学校から中学校、同じ人間関係で過ごす中で、その中の価値観だけで子どもたちの人間関係が作られてしまうところとか、大阪市においては適正な規模という、複数の集団規模で、初めて義務教育の中で教育効果が達成できるという部分があります。
- ・ どうしても行政が言うと、概念的な説明にばかりになりがちなのですが、適正規模校だからこそできることが、今統合をやることによって、実現できる、そのことのほうを、教育委員会は重視をしてやっていきたいところです。

### (ご質問・ご意見：14人目の方)

- ・ 小学校から中学校ずっとおって、高校行ってはじめて分かることもあるやろうからそんなん考えんでもいいんちゃう。それよりかは人数が減ったから、結局人件費がいる、はっきりそれを言ったらいい。そのほうが早い。経費節約せなあかんのでしょ。

### (村上 港区役所協働まちづくり課長代理)

- ・ すいません、今経費のお話のところもございました。今現在いらっしゃる先生方の数ということの中で申し上げますと、本来、大阪市のほうで定数というものがございます。その定数でありますとか、先ほどインセンティブを使った加配といった説明もさせていただいています。
- ・ インセンティブ以外にも、加配というのは、今現状としましても、本来の定数を上回る形で学校のほうに配置がされております。それで、そうしたことで今現状、築港中学校については築港中学校だけではありませんけれども、そういった形で加配によって学校が運営されておられると。また、それを前提として、今の校長先生を初め、各先生方のほうで、今の生徒さんに真摯に向き合っていて、より良い教育を今やっていただいているというのは実態でございます。
- ・ しかし、これが未来永劫、この形で続くことができるのかどうかといったところ、その加配というのは何分加配でございますので、これについて非常にこのまま続けられるかどうかといったところについては、正直不透明なところという、不透明と私こういった言い方が正しいかどうかはさておき、ただ定数ということで、私今も申し上げましたけれども、ある一定の学校の規模ということを確認することによって、当然のことながら、学校の先生の数という意味の定数ということも、こちらのほうも一定の先生が配置することができるといったところ、いわゆるスケールメリットといえますか、そうしたことは期待できるかなといったところでございます。
- ・ すいません、ちょっとお話のほうが、あっちゃこっちゃになりますけれども、それから築港小学校を残すということと、築港中学校を再編して港中学校のほうと統廃合するといったことに矛盾があるかどうかということのお話も、さきほどあったかと思えます。
- ・ さきほどですね、少し申し上げたところにもなりますけれども、築港小学校のほうについては、今未就学の子どもの数のところで言いますと、ある一定の数が見込まれると、住民基本台帳の人口というところでは、ある一定の数が見込まれる、一定の数というのは、要は複数学級、要は他の選択制とかで他所へ行ったりとか、転出で違うところに移ることがなければ、今の数をキープすることができれば、複数のすなわち2学級が期待はできるということでございます。
- ・ しかしながら、中学校のほうについては、教科担任制でございます。すなわち、学校のほうに配置していただかないといけない教員の数というものが、小学校に比べて中学校の方が、そのところが少し考え方が違ってくるところというのがございます。
- ・ なので、中学校のほうを維持していくということのほうが、少しハードルが高いといえますか、厳しいところがあるのかなというのは考えられるところでございます。
- ・ ただ、それと小学校を維持していきたいということについては、さきほど区長もそうですし、さきほど申し上げておりますように、まちづくりということも含めて一緒に考えていながら、何とかこちらのほうの小学校はキープしたいから、さきほど申し上げましたように、それをやったとしてもどうしても少子化が進んでいった時には、ということで、ただし

書きのようなものは付きますけれども、そうは言っても何とか小学校のほうは残してまいりたいというのが、今我々として思っているところでございます。ですので、矛盾というのではないというふうに我々としては考えています。

#### (山口 港区長)

- ・ あともう一つ、保護者の方に呼びかけてやった10月のほうの内容の話がなかったというのですが、残念ながら4つの小学校にお声掛けしたのですが、プリントも配って2名しか来られなかったんです。
- ・ それもとても実は私達としては結構ショックでして、100名ぐらいちゃんと入れるように近隣センター用意しまして、待っておりましたけれども来られなくて、ある意味もしかしたら関心が無いのかも、何かご意見が無いのか、私たちの場の設定が悪かったのかみたいなことを話をしていました。
- ・ その時来られた1人は築港の方で、もう1人は八幡屋の方だったんですけども、やはりYouTubeとか見て、やっぱり子どものことがあまり話をされていないというようなことであったりとか、逆にPTAがその3つの小学校一緒になった後どうなるんだみたいなところ、そういったようなご意見があったところです。
- ・ あとですね、やはり今とにかく工事に、設計と工事に時間がかかってしまうので、さきほどの池島小学校のこの1人の子、何とかしてあげたいという声もあって、実は私たちもそうは思っているんですけども、残念ながら令和11年、最短でも令和11年ですので、今年決めて予算を取って設計に入り、工事して令和11年なので決めるのが遅ければ遅れるほどこういった状況がどんどん続いていきます。
- ・ 既に公表されているので、言ってもいいと思うんですが、池島小学校の来年1年生6人です。そういった状況も考えますと、もう今後のことを考えたら、今やはりやるべきところを、再編やらなければいけないところをやりつつ、少人数の良さとか子供1人1人目が届く教育というところは、もうチーム学校の形で加配もしながら解決して行って、あとは並行して、まちづくりをして子供を増やして行って、何とか食い止めていこうというのが今お話しさせていただいたところです。私からは以上です。

以 上